

平成 28 年 10 月 27 日

各 位

会 社 名 BEENOS 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 兼 グループ CEO 直井 聖太  
(コード番号 3328 東証第一部)  
問合せ先 代表取締役副社長 兼 グループ CFO 中村 浩二  
電 話 03-5739-3350

## 平成 28 年 9 月期業績予想との差異及び配当予想の修正 (増配) に関するお知らせ

平成 28 年 7 月 21 日に公表した平成 28 年 9 月期業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、その理由を下記の通りお知らせします。また、その業績を踏まえ、配当予想 (期末) を修正することを本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想との差異について

##### (1) 業績予想との差異 (通期 平成 27 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式に 帰属する 当期純利益	一株当り 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 19,600	百万円 1,000	百万円 950	百万円 650	円 銭 53.42
今回実績 (B)	19,228	1,201	1,212	951	78.02
増減額 (B-A)	▲372	201	262	301	—
増減率 (%)	▲1.9%	20.1%	27.6%	46.3%	—
(ご参考) 前期連結実績 (平成 27 年 9 月期)	16,936	1,184	1,148	898	73.83

##### (2) 差異の理由

平成 28 年 9 月期は、E コマース事業のクロスボーダー部門において、為替変動 (円高) による商品単価の低下の影響によって売上高が未達成となったものの、インキュベーション事業の営業投資有価証券の売却が計画よりも進捗し、営業利益、経常利益ともに計画を上回りました。また、加えてタックスヘイブン対策税制の影響により、当社グループの繰越欠損金のうち、翌期に解消されると見込まれる部分に対して繰延税金資産を計上したことにより当期純利益が計画を上回ることとなりました。

## 2. 配当予想の修正（増配）について

### (1) 配当予想の修正（増配）の内容

	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (平成28年7月21日)	—	10円00銭	10円00銭
今回修正予想	—	13円00銭	13円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (平成27年9月期)	0円00銭	13円00銭	13円00銭
配当原資	—	資本剰余金	—

※期末配当による純資産減少割合は、0.023（小数点以下3位未満切り上げ）となる見込みです。

### (2) 修正の理由

当社は、配当を通じた株主への利益還元を重要な経営課題と位置付けており、事業基盤の拡大と財務基盤の充実を進め、経営成績を勘案しながら、配当による利益還元を実現する方針としております。

以上の方針に基づき、平成28年9月期の期末配当金につきましては、当期業績が期初予想を上回る水準となったことを勘案し、株主の皆様のご支援にお応えするため、その他資本剰余金を原資として、前回予想の1株当たり10円から3円増配し、1株当たり13円に修正することといたしました。

なお、当社は剰余金の配当等について、取締役会の決議により行う旨を定款第40条に定めており、期末配当につきましては、平成28年11月17日開催予定の当社取締役会において正式決定する予定です。

以上